

# KTK いつみ福祉会を 守る会だより

2017. 秋 NO.51



☆ワーキングセンター☆

大阪日帰り旅行♪

## “いつみ福祉会”を宜しくお願い申し上げます

社会福祉法人制度改革がありました。いつみ福祉会では、それでも、今までと同じように、それぞれで充実した生活を送ってられるように思います。守る会会員様をはじめ、地域の皆様の心からのサポートのおかげだと心強く感じます。いつみ福祉会の存在する地域の住民であることを誇りに思います。

去年の七月、相模原市の施設で入居生活者十九人の尊い命を奪った殺人事件は、日本中を震撼させました。異様な猟奇的な事件は海外でも同様に起こっています。そんな時、「喜ぶ者と共に喜び 泣く者と共に泣きなさい」と聖書のローマ人への手紙が浮かびます。身近にいつみ福祉会があるということは、一人一人の心に寄り添って、その心を受け止めるこ

## いつみ福祉会を守る会 林 智子

とができる居場所があるということではないか、と思います。

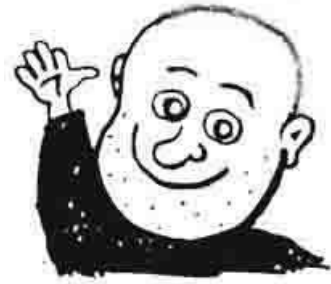
名前をお呼びして、声をかける、心のお話を聞く、「人は、障害に向き合った時、自らを発見する」とサン・テグジュペリはおっしゃっています。いつみ福祉会に居場所がある皆様と共に住民一人一人が我が事として捉え、地域の中で色々なことを考えて、努力して豊かな地域社会を作り出していくことが本当の共存社会だと思います。

いつみ福祉会も来年は30周年。平素からいつみ福祉会を温かく見守る応援・ご理解・ご協力をしてくださる皆様に厚くお礼申し上げます。またさらに一人でも沢山の方に関心を持っていただいて、守る会会員が増えることを願っております。

## 地域とのつながりの意味

### ＝世間話の大切さ＝

いづみ福祉会 事業部長 須河 浩一



いづみ共同作業所が開所して間もない平成元年の夏頃。作業所には本当にたくさんのボランティアの方々にご協力を頂いていました。そんな中で、こんなことがありました。

ある日、Aさんが作業所に駆け込んできました。「す～さん！ものすごくうれしいことがあってん。昨日な、近所のスーパーでボランティアのIさんに会ってん。そこでな、Iさん、私に『Aさん、今晚のおかずは何にするの？』って聞いてくれはってん！嬉しかってん！」私は、「なんのこっちゃ？！何でそんなことがそこまで嬉しいねん？」と思いました。

Aさんは地域の学校を卒業後、お父さんとの2人暮らしでずっと生活を送られていました。会話を交わす人はお父さんだけ。ご近所からもある意味「孤立」した生活を送られていました。そんな中で、作業所に通所するまでのAさんの仕事は、唯一お父さんのための買物や家事だったのです。

私たちの日常生活には意識しない無限の「世間話」があります。「利害関係」のない、ご近所さん、知り合い、同級生…と「どうでもいい話」をしながら生活をしています。「暑い

(寒い) ですね。」「どこに行かはりますの？」「ちょっとそこまで」「奥さん、今日の晩御飯何にしはる？」「私もそうしようかな」…全くどうでもいい話ではありませんか!?

しかし、人間の当たり前の生活には、この当たり前の、どうでもいいような、世間話が非常に重要な役割を果たしているのです。

「私は地域と繋がっていて、地域の一員として認められている」という関係性の象徴のようなものが世間話にはあります。

そして、それまでのAさんの生活に決定的にかけていたものがこの世間話だったのです。もちろん、Aさんにもご親戚や関わるスタッフもいます。そこにも「世間話」は存在します。しかし、「世話になっている」とご本人が感じてしまう関係性の中での「世間話」は、ボランティアの方とのそれと違った意味が伝わってしまいます。私たちがいくら「私たちは同じ立場だよ」といっても、ご本人にその意味が伝わることは構造的に難しいのです。

ボランティアの方々のご利用者との間には、この仕事を職業として選んだ私たち（支援者）とは違った、「当たり前の・普通の・平等な・人間関係」が成り立つ素地があります。

いづみ福祉会の経営理念には「…障害のある人が地域社会で当たり前の暮らしが出来るよう…生活者としての自立をサポートします…」と掲げています。

しかし、この経営理念はいづみ福祉会の事業が大きくなることだけでは、達成は絶対に不可能です。今も関わっていただいているボランティアの方々、スーパー・コンビニの店員さん、本屋さん・電気屋さん、ご近所の方々…等などとの、何気ない・当たり前の世間話が成り立つ関係性・地域性が不可欠です。そのつなぎ役が我々の仕事の一つだと言えます。

Aさんがとっでもうれしかった理由は、「Iさんは私を主婦って認めてくれた！」という喜びだったのかもしれない。



## リレーエッセイ

# 法人設立運動スタート！

～いづみ設立30周年に向けて～

今回は第2ステージ、地域の方のご協力とご理解を得て旧相楽郡（現木津川市）加茂町里に移転してからのエピソードをご紹介します。

共同作業所時代の毎朝の光景…「ラジオ体操するで～。床抜けるから跳んだらアカンで～！」（大爆笑！！）

ウソのようなホントの話。40人ほどに膨れ上がった所内の人数。一斉に飛び上ったらプレハブがあっ～！！車椅子の方も足腰が不自由な方も戦々恐々とした毎日が繰り返られていました。移動するのに「ちょっとどいてんか～！」と言わなければ、うまく通り抜けられない。ひしめき合って食べるお昼も懐かしい光景。いや～、ホント、狭かったなあ…。

お昼と言えば、お弁当販売会社『エッセン』さんが毎日注文取りに来て下さって、ご利用者さんは若い金髪のお姉ちゃんと話したくて話したくて、お金を握りしめて玄関スロープで待っていたなあ。最初は戸惑った表情を見せながら、用事が済んだらそそくさと帰っていた販売員さんも、回数を追うことにご利用者さんと仲良くなられ、言語障害がある方ともジェスチャーで楽しく会話して帰って行かれるようになっていました。あの光景も懐かしい笑顔あふれる毎日で、楽しかったです。



### ◇ 2000年のなつまつり

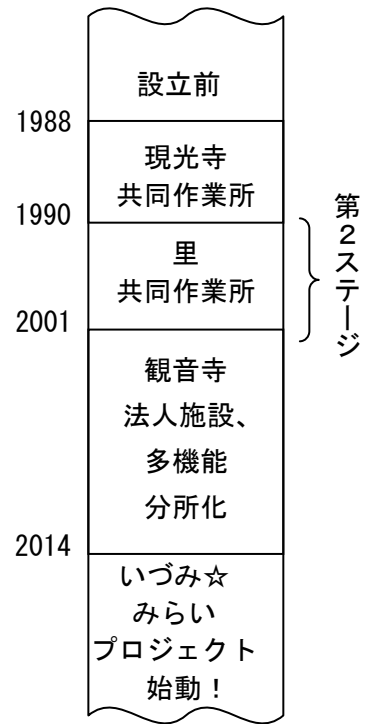
#### 「いづみ暴れ太鼓」！ ◇

法人設立のアピールで「なつまつり」も開催。地域の方もたくさん来て下さり、ご利用者さんのステージからの歌やダンスアピールも大勢の方が生ビール片手に見て下さっていて…。地域のみなさまにご理解を戴けることに繋がりました。


そしてもう一方で起こった問題…。あるご利用者さんが、自宅で暮らし続けることが困難になってしまったのです。職員が毎日交代で、隙間風吹き込む寒い共同作業所の畳の一室で、そのご利用者さんと一緒に寝泊まりする生活が始まりました。夕方にスーパーに買い物に行き、調理をし、お風呂は近所の銭湯へ…。毎日夕方に職員が帰ろうとすると物悲しい声を出して職員を見送り、毎朝出勤すると嬉しそうに、でも疲れた顔で職員を迎えて下さる。当然のことながら、ローテーションでまわる職員の疲労具合も切実で…。そんな中で、グループホーム設立も具体化していきました。

そしてついに、法人設立が現実のものとなっていったのです…。

（児童デイサービス施設長・丸岡哲子）



ちなみに…  
一九九一年  
SMAPがCDデビュー、  
ソビエト連邦崩壊  
二〇〇〇年  
ハッピーマンデー開始  
二〇〇〇円札発行





## 障がいと参政権

弁護士 西村 香苗

(いづみ福祉会 人権擁護委員)

唐突な衆議院解散と総選挙、今号が発刊される頃はもう落ち着いている頃でしょうか。言うまでもなく、国政は国民の選挙により選ばれた代表者が担っていくものです。これからの国の政治がどうなるか、国民の生活がどうなるかはひとえに選挙にかかっているのです。とはいえ、投票率が示すように、「自分とは関係ない」「投票したって無駄」「投票に行くのは面倒」と考える国民は多いようです。本当にもったいないことです。

現行憲法は国民が政治に関与する権利として、選挙権、憲法改正の国民投票制度、最高裁判所裁判官の国民審査制度、住民投票制度、請願権などの参政権を保障しています。

参政権の中でも、選挙権はもっとも（一般の人にとってはほぼ唯一）国政に関与することができる権利です。そしてその権利は20歳以上（一昨年前からは18歳以上）の日本国民にあまねく保障されています。もちろん、障がいの有無にかかわらず、です。以前は、判断能力がない常態にある成年被後見人には選挙権がないとされてきましたが、平成25年に「成年被後見人の選挙権の回復等のための公職選挙法の一部を改正する法律」ができて被後見人も選挙権、被選挙権を有することになりました。それによってたとえ投票場に行って候補者の名前を筆記できない被後見人でも投票所のスタッフがサポートして投票することができるようになりました。

しかし、だからといって画期的に障が

いがある人の投票率が伸びたという実感はないようです。その原因として、日本の選挙制度において障がいのある人に対する配慮はまだまだ後れていることが指摘されるところです。先進諸国では病気や障がいのために投票所に行けない場合の郵便投票、代理人による投票が充実しています。デンマークやスウェーデンでは投票所に行くことが困難な人に対しては自宅や介護施設等での投票が可能とされています。日本にも郵送による在宅投票と施設における投票が認められますが、厳しい制限があるのと、手続が面倒だという残念な点があります。また、選挙権を行使するに当たって候補者や政策等について十分な情報を得ることについても、点字・朗読テープによる選挙広報の発行などはまだまだ立ち後れている自治体もあります。

こういった障がいのある人の参政権を保障するための諸制度が改善されるのも、国政に声が反映されてこそです。もっともっと住みよい社会にするためには実際に困っている人がどんどん声を上げていき、自分たちの希望を反映してくれる代表者を国会に送り込まねばなりません。障がいがある方およびその保護者の方々は日々生活することで精一杯で政治について考えている余裕がない、という声が聞こえてきそうです。けれども投票することは生きていくことにつながっています。国政に関するニュースにもっと敏感になってみませんか？

8月3日(木)加茂文化センターにおいて、社会福祉協議会(社協)、民生児童委員協議会(民児協)、身体障害者協議会(身障協)、いづみ家族会、ボランティア団体の代表の方々及び法人本部の出席のもと、第17回総会が開かれました。

平成28年度の事業報告、決算報告、平成29年度の事業計画が承認されました。

その中で、今年度の特徴的な内容について紹介します。事業計画の2本目の柱『いづみ福祉会を財政的に支援する事業』に関することです。法人からの要請に応じて、いづみ独自の創造的な活動、研究、製品づくりなどに関する支援として、機材の購入、書籍の出版などに対して財政的な支援を行うというものです。今回挙げられていたのは、相談支援センターから希望のあった『K-ABC検査キット』の購入の購入でした。総会で承認され、早速相談支援センターで活躍しています。また、来年度の30周年記念誌の出版に関しても補助することが決まりました。

### ～支援に向けて役立てます～

#### 日本版 K-ABC II



いづみ福祉会を守る会の皆様から、<sup>ケ-エ-ビー-シー</sup> K-ABC-IIという心理検査をご寄付いただき、誠にありがとうございます。さっそく検査予約が殺到し、この検査の職員勉強も行いました。この検査は、最近日本基準化されたもので、様々な能力をグラフで示すことができ、また、幼児から成人まで網羅することが出来ます。能力のばらつきを検討することで、長所を生かして短所をカバーする方法、改善可能な短所を克服していく方法、潜在力を見つけて伸ばしていく方法などを見出す時に、役立てていきます。

(相談支援センター：大島)

守る会2016年度決算は次の通りです。(2016年4月1日～2017年3月31日；単位円)

収 入	金 額	支 出	金 額
前年度繰越金	821,510	発送経費	33,690
会費(個人)	451,200	KTK会費	6,880
会費(法人・団体)	54,000	消耗品・施設利用料	34,668
丸大食品幹旋料	21,638	たより作業費	25,280
預金利子	2	振替手数料	21,234
		事務経費	8,487
		熊本救援義捐金	6,200
		次期繰越金	1,211,911
合計	1,348,350	合計	1,348,350



## グループホームサポートセンター

～誕生日会企画～

グループホームでは、ご利用者さんの誕生日のお祝いを行っています。今までは第一いづみ荘で行っていたのですが、今年度から第二いづみ荘でも実施を始めました。どのようなことをするかと申しますと、誕生日の方に食べたいメニューを伺い、献立を立て、好きな料理と誕生日の歌でお祝いします♪♪

料理本を見て熱心に決める方、「誕生日といったらこれ!」と決めている方、たくさん好きなメニューを用紙いっぱいを書く方とそれぞれですが、皆さん自分の誕生日が来ることを楽しみにしています。これからも楽しめる企画を考えていこうと思っています！（福家）

## 児童デイサービス

～子どもたちと遊んでみませんか～

土曜日に公園遊びやスポーツを通して子どもたちと一緒に楽しく遊んで下さる方を募集しています。

どうぞ気軽に遊びに来て下さい!!!

♥卓上IH・CDプレイヤー・

子ども用自転車（12インチ）がありましたらお譲り下さい♥

TEL 0774(66)3506

(林)

## サービスセンター

～ご寄贈のお知らせ～

このたび『富士重工関連労働組合連合会』様より、車椅子のまま乗車できる福祉車両のご寄贈を賜りました。

『富士重工関連労働組合連合会』の皆様にご心より感謝申し上げます。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。（施設長 三船）



## ワーキングセンター

### ●クラフト班

恒例の草木染め販売会を開催します！是非、お越してください!!!

・11月6日(月)～10日(金)

・場所：奈良町物語館

・時間：10時～17時



### ●パン班

京都府内の障がい者施設が丹精込めて作ったパンの販売、コンテスト「ベーカリーあすの Kyoto カップ」に出場します!!!

・11月23日(木・祝)

・場所：京都府立植物園

出場商品!!!



[茶畑デニッシュ食パン] [まゆまる抹茶クリームパン]



## お茶会を

## 通して思ったこと

ボランティア 伊藤美津子

こんにちは。初めまして、伊藤と申します。今年からワーキングセンターのカラフル班（高齢者のグループ）でのプログラム、お茶会を月に1回、お手伝いをさせていただいています。お役にたっているのかな…と心配しつつも、他のボランティアの方、職員の方に色々教わって行っています。

最初、カラフル班の方たちを見たとき、物静かだな、という印象でしたが、徐々に会う回数が増えていくと、たくさんのお話をしてくれるようになりました。私もおしゃべりが大好きなので、楽しくて、嬉しくてたまりません。「お茶おいしかった」「先生ありがとう」等お茶会の感想や他にも「こんな仕事してるんやで。」と柿渋染めの仕事を教えてもらったり。

こんな経験をさせて頂いて感謝しています。私自身「いづみ」のことを知り始めたところですが、もっと外部の人たちも私のような経験が出来るといいのにな、と思います。地域での交流会などももっともっと増えることを願っています。



[お茶会の様子]



## 第5回バーベキューパーティーを開催！！

いづみ家族会・相楽郡東部ふれあう親の会

いづみ家族会会長 國本素子

九州に接近した台風の影響で、雨・風がだんだん強まる悪天候の中、9月16日（土）ワーキングセンターいづみの食堂に総勢60名（学齢部2名、家族会41名、職員10名、加茂の恩返しさん7名）が集いました。

テラスの上にブルーシートを屋根代わりに張り、4台のバーベキューコンロでたくさんのお肉やウィンナー、野菜を職員の方、そして、加茂の恩返しさんが手際よく焼いて下さりました。もちろん、家族会のメンバーも活躍しました。準備もスムーズだったため、ゆっくりと食べたり、お話ししたり、楽しませていただきました。

食事がひと段落つくと、自己紹介をし、新しい仲間の名前やお顔を覚えたり、日ごろお世話になっているボランティアさんの顔も知ったりすることが出来ました。また、役員から提供された景品の抽選会も好評で、交流も深めることが出来ました。

職員ボランティア、加茂の恩返しボランティアの皆様、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。



# 会費納入にご協力下さい！！



2017年度の会費納入をお願いします。同封の振込用紙をご利用ください  
個人会費は一口1,000円、団体（法人）会費は一口3,000円です。

法人の窓口を持って来ていただくことも大歓迎です。

（2017年7月11日～2017年9月26日受付分）会費納入をいただいた方々です。（敬称略、順不同）

奥中憲次	新谷裕美	河口弘信	鈴木秀年	山田幸恵	鈴木久代	薬師寺	姫野忠之	岩口佳子	小南和子・和彦
奥村裕子	安見和代	澤田康子	梶田由美	藤村信子	小松康文	松本清次	杉若良子	今西邦雄	光明寺聖法院
北川幸子	三嶋恵美	杉本清重	藤田泰久	吉岡康広	前田安廣	坂本良子	岩井忠敏	曾我千代子	北村クリニック
山本妙子	森川護	飯干孝子	大垣啓子	植村陽子	青山信一	河原宗弘	松田幸雄	古城笑子	伊地知文雄・節子
須河大市	来住恒男	須佐見恵史	中村均	白井謙	吉田茂	大谷儀嗣	廣末洋子	坂本利正	タツタ電線(株)
松原雅子	岩田君子	水無瀬隆造	堀啓子	遠藤松子	馬泰子	荒川智行	新谷隆一	大谷恭晃子	住岡晴美・裕之
新田晴美	大西英隆	馬場勝幸	南本妙子	石崎市治	藪本知子	林知子	上田繁夫	渡邊かおる	石田電機工業所
西本義尚	吉田輝雄	沼田和子	大川瞳	井上裕之	来住弘之	花田隆巨	森本一子	吉中俊子	伊藤美津子・博子
村田和子	炭本民子	宮崎栄子	来住洪一	小澤邦三	河原正子	富満通男	西上泰子	奥村晃正	村上康行・智乃
稲垣和三	福井一義	鳥本一匡	福井博敏	大堀人美	田崎冷子	大森貢	柳澤サハ子	丸岡伸子	和智正治・ちさと
西田誠志	大西令子	伊藤美恵子	米田幸子	新井真代	西嶋恵明	小川りゑ	崎園邦子	大智禪寺	橋本洋一・さち
西本奈良重	松田大	松田聖子	臼谷きよ	近藤進一	門脇史郎	北林国子	國本素子	吉本玲子・恵	辻本弥三郎・勝代
岡島政彦	長谷川秀俊	竹中まり子	稲垣政子	船太嘉司	土井知恵	山内康司	林良美・和孝	大槻政美・伸	土井正夫・信子

## ご寄付ありがとうございました

いづみ福祉会および守る会に多くの方々からご寄付をいただきました。ありがとうございます。

（2017年7月24日～2017年10月2日受付分）

お名前をご紹介します、お礼に代えさせていただきます。（順不同）

- ・村上康行様 ・松原雅子様 ・馬場久代様 ・来住弘之様 ・足立雅子様 ・林良美様 ・北尾清美様
- ・柳原洋子様 ・中田キヨ子様 ・森圭史郎様 ・黒田和代様 ・山際久江様 ・西山嘉章様 ・廣尾操様
- ・南山城村共同製茶工場様 ・浜田様 ・富岡由美様 ・坂本武博様 ・林順子様 ・石崎敬子様
- ・土井知恵様 ・土井正夫様 ・前田安廣様 ・平木麻理様 ・石田電機様 ・谷淵茂子様 ・松葉様
- ・岩井様 ・佐藤真由美様 ・丸谷様 ・岡田愛子様 ・坂本利正様 ・渡邊圭子様 ・川畑様 ・匿名様

現金、洗濯洗剤、掃除機、炊飯器、掛け時計、台車、アイロン、プラボックス、タオル、新茶、ほうじ茶、ケース、足ふきマット、湯呑み、茶碗、野菜（ミニトマト、韓国かぼちゃ、きゅうり、冬瓜、ジャガイモ、トウガラシ、トマト、カボチャ、玉ネギ、ピーマン）、リンゴ、デジタルカメラ、SDカード、ウォシュレット、ホットプレート、菓子

ご寄付いただいたものは、有効に活用させていただいております。厚くお礼申し上げます。  
また、ご家庭に不要なタオル、掃除機、アイロン、扇風機、ミキサーがありましたら、よろしくお願ひします。

### 編集 いづみ福祉会を守る会

連絡先 社会福祉法人 いづみ福祉会 内

〒619-1143

京都府木津川市加茂町観音寺石部8番地

TEL:0774-76-7210 FAX:0774-76-0070

URL:<http://www.idumi-fukushikai.or.jp>

#### ＜ 編集委員 ＞

ボランティア団体:西嶋 いづみ家族会:國本

法人職員:大久保、青山、石崎、馬場栄、服部

林、丸岡伸

発行人

京都障害者団体定期刊行物協会  
高谷修  
〒602-8143  
京都市上京区猪熊通丸太町下ル中ノ町5-19

075-8222691

頒価1000円

会員の購読料は、会費に含まれています。  
京都社会福祉会館4階 京都難病連内